

令和2年度 特別の教科 道徳 研究構想図

学校教育目標

『高くかかげよ』
～夢と志を抱き、仲間とともに、高め合う子どもの育成～

研究主題

『主体的・対話的で深い学びを促す特別の教科道徳の創造』
～中心発問の工夫と話し合い活動の充実を通じた道徳的諸価値の育成～

研究仮説

特別の教科道徳において、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定（中心発問の工夫）」のある授業を展開し、その中で話し合い活動（練り合いの時間・討議の時間）を充実させることができれば、生徒の資質・能力（表現力・コミュニケーション能力・主体性）をより育成でき、道徳心を育むことができるであろう。また、これらの学習を通して、広い視点を持った道徳性を育み、生涯にわたって道徳的実践力を発揮できる生徒を育成できるであろう。

本校の特別の教科道徳で重点的に育成を目指す力

表現力
（思考、判断、表現力と活用力）

コミュニケーション能力
（読解力と対話力）

主体性
（好奇心と課題発見力）

日中スタイルを活用した
特別の教科道徳

研究内容① 強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定（中心発問の工夫）

- （1）主題を焦点化し、主題を解釈する。【主題設定】【主題観】
- （2）主題に照らして子どもの実態を捉え、教材を分析し、解釈する。【生徒観】【教材観】
- （3）主題に迫るために具体的な指導方法を考える。【指導観】

研究内容② 話し合い活動（練り合い・議論の時間）の充実 （少人数班、ホワイトボードの活用、全体討議の実施など）

- （1）少人数班による討議の充実
 - ・研究内容①を踏まえた、考える道徳、議論する道徳
 - ・ホワイトボードの活用、発表時のホワイトボードの提示の工夫
- （2）全体討議の充実
 - ・討議の見える化（ホワイトボードに生徒の意見を加筆していく）
 - ・質疑応答、グルーピング、ラベリング（意見の練り合い、吟味）

研究内容③ 深い学びの実現と自尊感情を高める振り返りの質の向上（変容の見取り）